

平成30年度 江戸川区立南葛西小学校 学校関係者評価報告書(学校経営計画・学校関係者評価シート)

学校教育目標	○進んで学び くふうする子 ○思いやりのある子 ○健康で たくましい子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○保護者・地域とともに歩む学校～「共育・協働・安心」の学校づくり～ ○「生きる力(知・徳・体の力)」を身に付けた子ども ○組織的な教育活動を推進し学校の教育力を高めつつ、自らの向上を図る教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>学校全体でICTを活用した授業の推進に取り組み、全学級で毎日タブレットPCを使った授業が実施できた。東京ベーシックドリルを活用し、診断シートでつまづいた課題別の補習を行い診断シートの定着率を10%向上させることができた。エンカレッジルームを整備し、特別支援教育について保護者の肯定的評価が増えた。 <課題>「あいさつや言葉づかい」の指導について依然として保護者の肯定的評価が伸びないので、さらなる改善策を講じる。また図書館を活用した授業を計画的に		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	評価指標・評価基準		自己評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善策
			取組指標	成果指標	取組	成果	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	小中連携教育プログラムの計画的な実施。	保護者アンケート肯定的評価80%	B	B	小中相互の授業参観を実施して、情報交換を行った。NSB、秋祭り、6年生の中学校部活体験などで交流することができた。	A	6年生は次年度は中学生になるので、部活体験などあって交流できて良いです。避難訓練時の二次避難先として、今後さらに交流していきたい。
	共育・協働・安全の学校づくり	地域資源(人材・施設・環境)を活用した学習の推進	体験的な活動、公園ボランティア、地域清掃 年12回	保護者アンケート肯定的評価80%	A	A	PTAや地域の方と学校行事に参加し交流することができた。外部指導の方を引き続き招いて、児童の学力向上をさせていきたい。	A	地域との交流、連携が取れてとても良いと思います。学校行事等の参加を呼びかける。引き続き、外部講師を招いていく。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	教員向けICT研修年3回、各学年授業支援eライブラリ補習6回	保護者アンケート肯定的評価80% 児童アンケート 80%	B	B	授業でタブレット等活用することができた。1年生へのeライブラリ補習6回は効果があり、サマースクールで活用できた。	B	振り返りや補習の時間はとても良いので継続してほしいです。ICT研修を引き続き行い、プログラムに関する研修も受けるようにする。
	特別支援教育の更なる充実	「特別支援教育校内伝達研修会」等の実施による教員の指導力の向上	SC、巡回指導員による研修年3回	保護者アンケートでの肯定的評価80%	A	B	研修会は、3回行ったことができた。保護者への周知は必要だが、デリケートな部分なので、難しい面もある。	B	個性を大事に育んでいける環境整備をお願いします。研修を3回行う。児童に巡回指導理解教育を行うことで、保護者へも広めていく。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	補習の実施や東京ベーシックドリルの活用によるきめ細やかな指導の充実と授業力の向上	課題別補習タイム週3回 サマースクール6回	診断シート正答率:1回目より2回目10%向上	A	A	どの学年も、1回目より2回目の方が診断テスト結果が上がっていた。苦手な分野に合わせて補習が行っていた。	A	理解できないことは学校で解決するようになってきました。きめ細やかな補習が行えるよう補習プリントを見直し、他学年の復習できるようにしていく。
	確かな学力の向上	「分かる、できる授業」の推進 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善	「めあて」「まとも」を全授業で板書(提示)	保護者アンケート肯定的評価80% 全国学力調査:意識調査70%	B	B	「めあて」「まとも」などをカードを作成し、全教室で板書の際、提示できるようにした。交流、話し合い活動を増やしていく。	A	引き続き頑張ってください。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	調べる学習単元年2回 調べる学習コンクール出品	保護者・児童アンケートの肯定的評価80%	B	B	学校図書館の充実を図り、研修を通して、学習の流れを学ぶことができた。研修生が1学年で調べる学習に取り組むことができた。	A	調べる学習では、テーマを設定して、読書科の価値基準にもとづいた指導を実施する。引き続き取り組んでいく。
相談体制健全育成の充実	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	休み時間の全校運動遊びと学級遊び 体育で学習カード活用	児童アンケートの肯定的評価80% 体力テスト質問紙意欲向上	B	B	運動遊びに親しむことができた。学習カードの活用にはらつきがあった。	A	この取り組みによって集団生活や協調性を学んでもらいたい。休み時間のかけ足や縄とはとても良い取り組みです。実態に合わせて、学年で学習カードを活用する。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」の3つの視点を踏まえた取組の充実	実施計画書に基づく35時間の学習の実施	児童アンケートの肯定的評価80%	B	B	パラリンピアンをゲストティーチャーに招いて講演を開いた。各学年の年間指導計画に扱い、リーフレットや冊子を活用して学習を進めた。	A	講師を招き、子供達もとても楽しんでいました。テーマについて考える機会があることも良いと思います。オリパラルームの整備と、関連するゲストティーチャーを招き、さらに理解を深めていく。
	健全育成の充実	「江戸川っ子・家庭ルール」の推進による児童・生徒の生活習慣や情報モラル意識の向上	家庭ルール週間学期に1回 情報モラル教室年3回	カード定着率80% 保護者アンケート肯定的評価80%	A	B	活動内容は定着したものの、就寝時間が遅い、睡眠時間不足等の生活リズムでの課題がある。	A	定期的な生活見直しに役立っています。生活目標に家庭ルールに準じた内容を盛り込み、月一回学校指導をする。
特別支援教育の推進	規範意識の向上	「南小スタンダード生活編」を活用した組織的な指導体制	各項目の確認月1回 週目標の振り返り	達成率80%	B	B	口頭での指導によるところが大きく、南小スタンダード生活編が児童に示されていないので学校掲示物の作成を行う。	A	スタンダードの統一の取り組みを今後もお願いします。南葛西小の生活と南小スタンダード生活編を照らし合わせ、精選して掲示物を作成する。
	思いやりのある子の育成	「あいさつ・言葉遣い指導」の共通理解・共通実践	たてわりあいさつ運動6～1月 ほかいほかい言葉週間2月 ソンジャルスキルトレーニング9月～2月	保護者アンケートでの肯定的評価80%	A	B	校内でのあいさつは聞けるものの、校外や来客などでは評価が低い。ほかいほかい言葉週間等で言葉遣いの大切さを指導していく。	A	高学年になっても気を付けて取り組んでほしい。縦割りであいさつはいい刺激になるので良いと思います。言葉遣いの大切さを指導する。
	エンカレッジルームの効果的な活用	支援を必要とする児童へのエンカレッジルームを活用した支援の充実・校内体制づくり	校内委員会 月1回以上 指導体制の確立	保護者アンケートでの肯定的評価80%	A	B	校内委員会は、月1回行い、情報交換をした。また、巡回指導全面実施にあたり、巡回指導員と連携を図り、校内判定委員会などを実施した。	B	効果的に活用されているのが分かるので、引き続き、関係者と連携を図りながら、実施していく。
	インクルーシブ教育の推進	ユニバーサルデザインの視点での授業改善と環境整備	教室環境の整備 教材・教具の工夫(提示物)	全学級、算数教室前面掲示統一学習の流れ提示物統一	A	A	学習の流れの掲示物を統一した。全クラス前面の棚にカーテンをつけ、刺激物をなしたり、情報量を減らした。	B	デザインとして考えられていることが良いと思います。落ち着いた環境です。さらに、掲示物を工夫するなど、教室環境を整えていく。